





## 新分団長紹介

## 第4分団長 伊藤 修

平成30年4月1日付で、第4分団、分団長に任命されました伊藤 修と申します。消防団員として、地域住民と共に防火防災の行動力向上の為、初期消火、応急救護の指導を目的とし、訓練に励んで行く所存です。これからも消防団の皆様、地域の皆様宜しくお願い致します。

## 第6分団長 武井 義昭

平成30年4月1日付で、第6分団、分団長に任命されました武井 義昭と申します。30年前に入団し、当時は第6分団はポンプ操法大会では負け知らずで、即ポンプ操法の2番員になり、先輩団員の厳しい訓練指導を受けました。今でこそ解説付きのDVD教材がありますが、当時は優しい先輩団員がノートに図を描いて教えてくれました。今では懐かしい思い出です。今後も引き続き、第6分団全員が一致団結し、安全で安心な 築地の街づくりのため防火防災指導に努力するので、ご協力よろしくお願い致します。

## 団本部

## 猛威を振るう豪雨災害、総雨量 2,000ミリ時代を迎えて

## 団本部 副分団長 菅谷 明良



写真：1947年9月カスリーン台風 救助状況(葛飾区四つ木)

2018年9月6日(木)未明、北海道で震度7を観測した「平成 30年北海道胆振東部地震」は、前日の台風で地盤が緩んでいたところに大規模な土砂崩れを発生させ、多くの尊い人命を奪った。豪雨が地震の被害を拡大させた。

今年は7月豪雨に続き、大型台風 20号・21号の暴風雨が日本列島を立て続けに襲い、被災地は広い範囲に及んでいる。なかでも7月豪雨は、大雨特別警報が11府県に出され、死者200人を超す平成最悪の水害となった。TVニュースでは、東京でも荒川の堤防が決壊した時にどうなるのかを国土交通省が制作した「フィクションドキュメンタリー『荒川氾濫』」を紹介していた。銀座4丁目交差点が浸水した映像をご記憶のかたも多いだろう。防災啓発を目的に制作されたフィクションとはいえ、近年の異常気象により現実味を帯びてくる。

7月豪雨は、大きな被害を出した広島県で72時間降雨量392.5ミリを記録、最も降雨量が多かったのは高知県で1,319.5ミリを記録している。昨年(2017年7月)の九州北部豪雨では、72時間降雨量が、福岡県朝倉市朝倉616.0ミリ、大分県日田市日田447.0ミリを記録した。これまでの最高記録は、2011年9月奈良県上北山観測所で記録した1,650.5ミリである。中央区が公開している「荒川版」中央区洪水ハザードマップは、荒川流域に72時間降雨量548ミリの雨で荒川の堤防が決壊した場合を想定している。

東京では水害の記憶が薄れてきているが、昨年(2017)は、関東地方に未曾有の大雨をもたらし、戦後最大の水害となったカスリーン台風(1947年9月)から70年だった。カスリーン台風は、日本に近づいた時にはすでに勢力も弱まっていた。また、日本列島を直撃もしなかった。しかし、停滞していた秋雨前線を刺激し、記録的な豪雨をもたらした。被害は、1都5県(群馬、埼玉、栃木、茨城、千葉、東京)にわたり、死者1,100人、家屋浸水303,160戸、家屋消失・倒壊31,381戸にのぼっている。

日本気象協会は、2011年9月に「総雨量2,000ミリの時代を迎えて」として、日本国内においても2,000ミリを超える大雨が想定されると指摘している。もはや総雨量2,000ミリでさえ「想定外」とは言えない状況にあるということを念頭に置いておきたい。水害への備えを着実に進めて行こう。

## 第3分団

## 上級救命講習を受講し

## 第3分団 部長 田中 英男

昨年、上級救命講習の有効期限3年が過ぎ、再講習が必要だったのですが、仕事で受講することが出来ず失効してしまいました。今年の8月19日(日)上級救命講習を受講することになりました。久しぶりの8時間講習であり、普段では学べない部分もしっかり学んで知識の向上に努めようと思いました。

受講当日、京橋消防署4階の防災教室に行き、講師は東京 防災救急協会2名、受講者は20名でした。午前中は、テキスト前半の応急手当の重要性から始まり、人形を使用した心肺蘇生の実技を実施して午前中は終了しました。午後は、乳児及び小児の人形を使用しての実技、その後、三角巾を使用した上腕部の応急手当、他4種類の実技を受講しました。後半は毛布を使用した搬送要領等を受講して最後の効果測定をして終了しました。

この講習を受講して思い出したのが、以前、帰宅途中で急病人に遭遇した事案でした。私が電車で帰宅途中、少し離れた左斜め前に若いサラリーマンが寝ているのに気づきました。私は最寄りの駅が近づき下車する準備をしていました。すると突然その若い男性が倒れました。付近にいた男女数人が駆けつけ容態観察を始めました。

倒れた男性は口から泡を吹きながらバタついていたので数名で押さえ、私は駅員を呼びに行きました。その後、男性は電車から降ろされたのちに意識が回復し呆然と座っていました。

それから数日後、テレビで「てんかん」の事故が流れ、その症状があつたことと同じであったことから「てんかん」を発症していたと判りました。

何時何処でそういった事案にまた遭遇するかわからない、また、何時遭遇しても冷静に、そして率先して行動し対応しようと思いました。

## 消防団合同点検



平成30年9月16日(日)中央区消防団(京橋、臨港、日本橋)合同点検を臨港消防署の敷地にて実施しました。震災を想定した救助訓練、大規模な火災を想定した一斉放水など実践しながらの訓練を披露しました。

## 新入団員

## 第1分団

鈴木 容子

「地域のために何かお手伝いできたらと思っていた時に誘い頂きました。父が消防団員でしたので身近な感じもあり入団しました。」

## 第2分団

田中 秀樹

「勤務先では総務部に所属し、防災や安全に深く携わっていることから、その経験を地域に生かしていきます。」

## 第3分団

丑木 拓

「仕事はビルの設備員です。高校まで野球をやっていました。現在ゴルフの特訓中ですがセンスがありません。よろしくお願いします。」

## 第4分団

山田 稔

「城東消防団から京橋消防団に再入団しました。牡牛座で血液型はB型、4人家族で職業はディスプレイ業。趣味はJAZZ鑑賞、カラオケ、映画鑑賞、そしてお酒ok」

## 第4分団

中田 聡

「銀座は、とてもいい街です。そんな素敵なお街を守り続ける消防団員になります。どうぞよろしくお願いします。」

## 第5分団

大山 竜平

「7月に入団しました大山です。地域の皆さんに信頼される団員を目指して努めて参ります。よろしくお願いします。」

## 第7分団

及川 智久

「以前は板橋消防団の第5分団員でしたが、転居に伴い再入団しました。京橋の地域防災に努めます。」

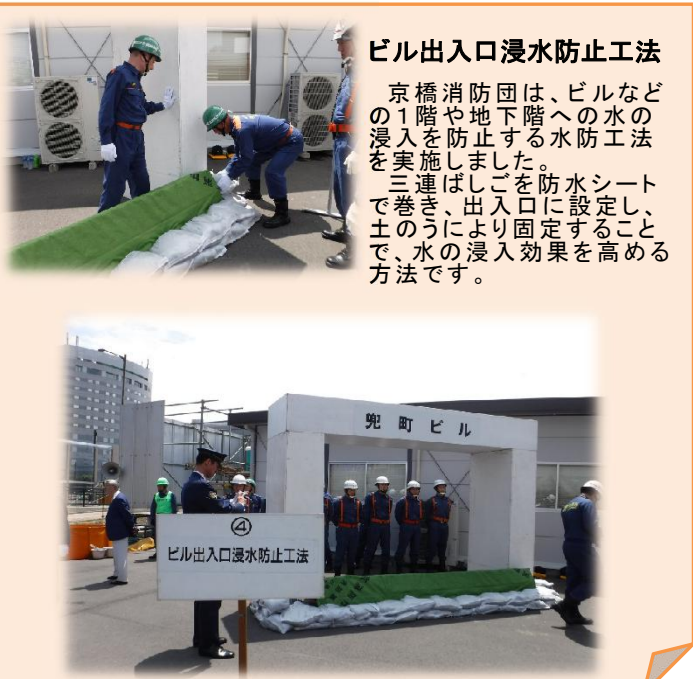
## 退 団

団本部	分 団 長	福島 義矩	平成30年6月30日付
第1分団	団 員	田村 秀美	平成30年7月31日付
第3分団	団 員	後藤 勝宏	平成30年9月30日付
第5分団	団 員	佐藤 俊也	平成30年9月30日付
第5分団	団 員	佐藤 明子	平成30年9月30日付

## 補 職

第1分団	班 長	齋 望 (新任)	平成30年8月1日付
第1分団	班 長	山田 政子 (新任)	平成30年8月1日付

## 中央区合同水防訓練



## ビル出入口浸水防止工法

京橋消防団は、ビルなどの1階や地下階への水の浸入を防止する水防工法を実施しました。三連ばしごを防水シートで巻き、出入口に設定し、土のうにより固定することで、水の浸入効果をも高める方法です。

## 富岡八幡例大祭(消防特別警戒)

担当分団:第7分団

応援分団:第2、第6分団

8月12日(日)富岡八幡宮二の宮神輿渡御に伴い、沿道警戒、奉納放水活動を実施しました。



## 銀座震災訓練



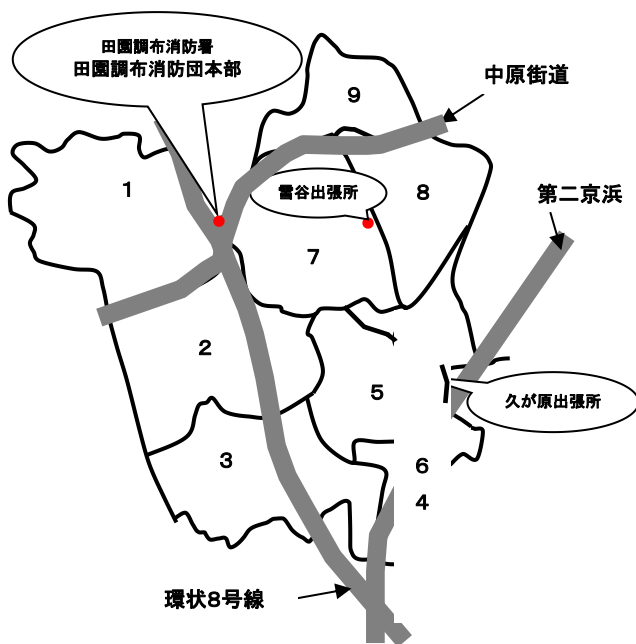
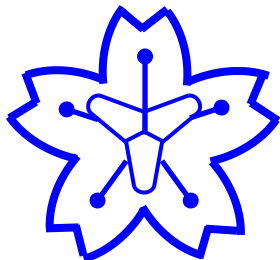
## 訓練指導:京橋消防団

8月31日(金) 今年も、参加人員が4,000人を超える大規模な防災訓練となりました。地域、事業所の皆さん、ご協力ありがとうございました。





# 団員募集中



【京橋消防団の主な行事】



